

第2次大垣市スポーツ推進計画

(案)

目 次

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 計画策定の背景	2
3 計画の位置づけ	3
4 計画策定の方法	3
5 計画の期間	3

第2章 現状と課題

1 本市のスポーツ推進の取組みの概要	4
2 第1次計画の実施状況及び評価	5
3 第2次計画の策定に向けて	13

第3章 基本方針

1 基本理念	15
2 基本目標	15
3 基本施策	15
4 施策体系図	16
5 基本施策の関連図	18

第4章 基本施策

1 生涯スポーツの推進	20
2 競技スポーツの推進	25
3 学校における体育・スポーツの充実	27
4 スポーツ環境の諸整備	29
5 アクションプラン	32

第5章 計画の推進

1 推進方法	38
2 推進体制	38
3 進行管理	38
4 計画の見直し	38
5 指標と目標	39

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本市では、「大垣市第五次総合計画」を上位計画とし、大垣の地域性、独自性をもたせながら、今後10年先を見通した本市の教育の在り方と教育行政を進めるための「道しるべ（指針）」として、平成22年3月に「ふれあい、学びあい、深めあう文教のまち大垣」を教育のめざす姿とする「大垣市教育振興基本方針」（期間：平成22年度～31年度）を策定しました。

この基本方針に基づき、平成23年3月には、教育各分野の個別計画の一つとして、「健康で魅力ある生涯スポーツ社会の実現」をめざした「大垣市スポーツ振興計画」（以下「第1次計画」という。期間：平成22年度～26年度）を策定しました。

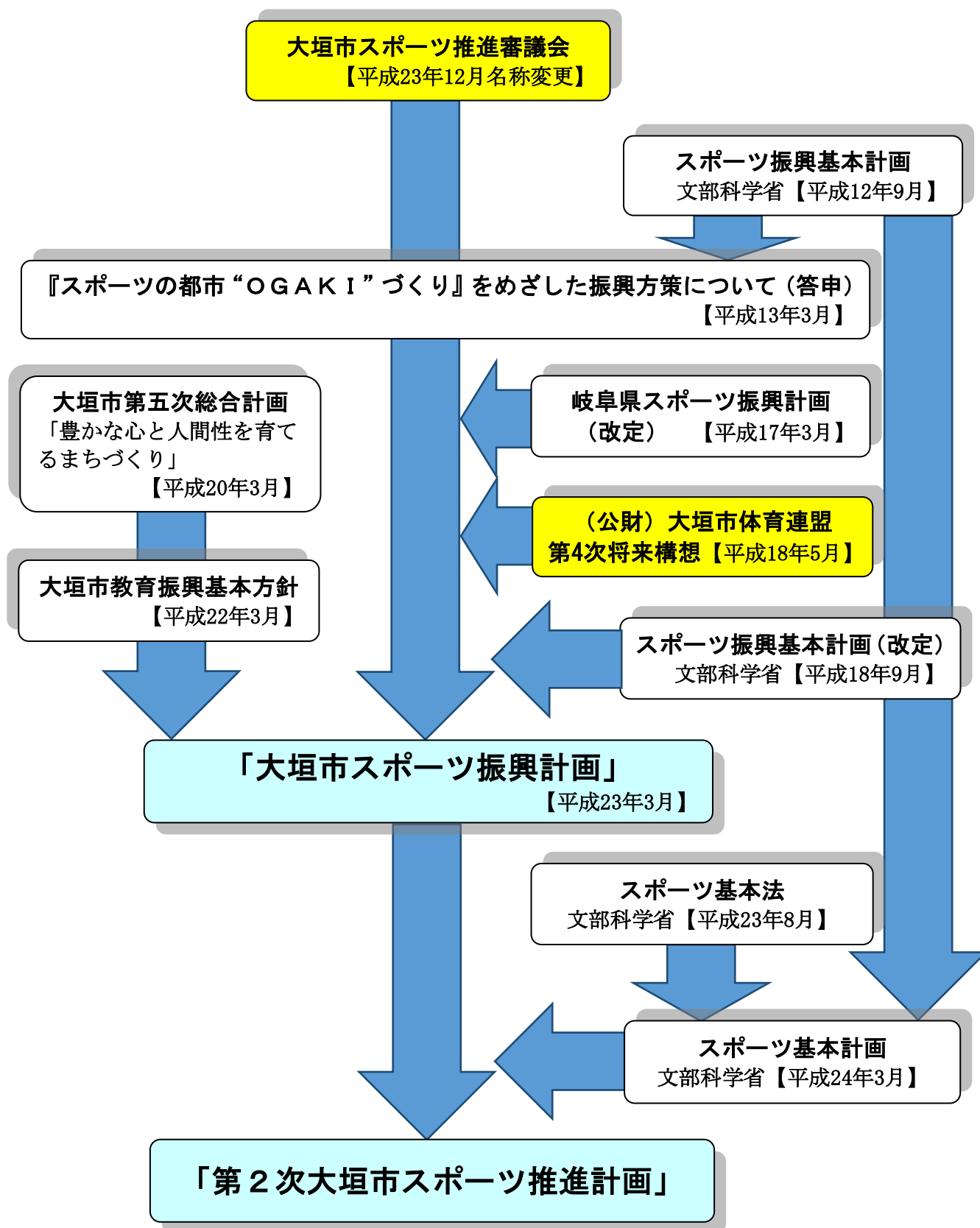
計画の期間中、平成24年に開催された「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会（以下「ぎふ国体・大会」という。）」を契機として、平成25年には、「日本女子ソフトボール2部リーグ（大垣ミナモトSC戦ほか）」や「J2リーグ（FC岐阜戦）」、平成26年には、「大垣国際女子ソフトボール大会（OGAKI CUP）」が本市で開催されました。

また、平成32年には、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定するなど、市民のスポーツへの関心が高まっています。

しかしながら、本市では、意識的に運動をしている人の割合が、目標値には及ばない状況にあり、また、児童生徒では、情報端末機やゲーム機等による室内遊びの増加などにより、運動する子どもとしない子どもの二極化が進むなど、体力・運動能力の低下が懸念されています。

こうした背景を踏まえ、今後、市民の体力づくりやスポーツの日常化を図るとともに、豊かなスポーツライフの創造及び健康で魅力ある生涯スポーツ社会の実現をめざして、「スポーツの都市（まち）“OGAKI”づくり」を具現化するため、「第2次大垣市スポーツ推進計画」（以下「本計画」という。）を策定します。

2 計画策定の背景



3 計画の位置づけ

- (1) 本計画は、「スポーツ基本法」第10条の規定及び平成13年3月の答申にある「スポーツの都市（まち）“OGAKI”づくり」に基づき策定するものです。
- (2) 本計画は、市政の指針である「大垣市第五次総合計画」に掲げられている「豊かな心と人間性を育てるまちづくり」を具現化するための性格をあわせ持つものであり、本市のスポーツ関連推進施策を体系づけたものです。
- (3) 本計画は、本市の教育行政の道しるべ（指針）である「大垣市教育振興基本方針」に掲げられている「健康で魅力ある生涯スポーツ社会」の実現をめざすため、その方針・方向性を明確にするとともに、数値目標等を定めたものです。
- (4) 本計画は、市民の体力づくりやスポーツの生活化を図り、豊かなスポーツライフの創造をめざすための基本的指針となるものであり、この目標達成のために体系的な主要施策を整え、実施の方策等を示すものです。
- (5) 本計画は、市民が生涯にわたってスポーツ・レクリエーションができるよう、長期的、総合的見地から策定するものです。
- (6) 本計画は、行政、市民、（公財）大垣市体育連盟（以下「市体育連盟」という。）や連合体育振興会、校区体育振興会等の関係機関・団体が一体的に施策の推進を図るものです。

4 計画策定の方法

スポーツ基本法第31条の規定に基づき設置している「大垣市スポーツ推進審議会」において策定します。

また、審議会を公開会議とし、計画策定プロセスの透明性を確保するとともに、市民から幅広い意見を得るため、パブリック・コメントを実施します。

5 計画の期間

計画期間は、平成27年度から31年度までの5年間とします。

第2章 現状と課題

1 本市のスポーツ推進の取組みの概要

本市におけるスポーツの推進は、市体育連盟が昭和26年5月に設立されて以来、地域に根ざしたスポーツ活動を通して、市民の健康と体力の増進、競技力の向上、青少年の健全育成など、多岐にわたるスポーツ事業を実施するとともに、体育施設の管理運営を行うなど、本市と両輪で展開してきました。

また、本市においては、「ぎふ国体・大会」開催に向けて、会場となる施設の大規模改修を行うとともに、北公園陸上競技場をはじめ、総合体育館や浅中公園総合グラウンド、市民プールなど、様々なスポーツ需要に応じて、施設整備に努めてきました。

近年、国際化や高度情報化、高齢化、少子化が急速に進展するとともに、従来の社会経済システムや価値観、ライフスタイル等が変化する中、人間関係の希薄化やストレスの増大、運動不足など、心身両面に健康上の問題が生じてきています。

こうしたことから、人々の健康やスポーツへの関心が一層高まり、本市においては、多くの市民がスポーツに親しみ、心身ともに健康に暮らすことができるよう少年スポーツや競技スポーツをはじめ、生涯スポーツの推進に努めています。

市民のだれもが身近な地域において、体力や年齢、目的等に応じてスポーツを気軽に楽しむことができるよう学校体育施設の開放や赤坂スポーツ公園、杭瀬川スポーツ公園、武道館などを整備することにより、地域に密着したスポーツ活動やレベルの高いスポーツ競技を楽しむことができるよう展開しています。

また、小中学生の頃から気軽に運動にふれ、運動に親しみことができるようスポーツ少年団の育成や地域スポーツクラブの設置・拡充、中学校の部活動等への支援にも努めています。

さらに、地域の活性化を目的としたコミュニティスポーツの推進を図るため、各校区の体育振興会やスポーツ推進委員を中心にヘルシーウォークの開催や軽スポーツの推進などに取り組んでおり、その役割はさらに重要になっています。

競技スポーツにおいては、全国・国際大会等への出場者数が増加傾向にあり、岐阜県内の郡市を代表して競技を行う「岐阜県民スポーツ大会」では、平成20年度から6大会連続で優勝するなど、各種競技団体を通じて競技力の向上に努めています。

今後も、市民一人ひとりがスポーツ活動の必要性を認識し、健康な日常生活を営むことができるよう暮らしにスポーツのあるまちづくりを進めていく必要があります。

2 第1次計画の実施状況及び評価

〔第1次計画の概要〕

(1) 計画期間 平成22年度～平成26年度
(2) 基本理念 「スポーツの都市（まち）“OGAKI”づくり」
(3) 基本施策 ① 生涯スポーツの振興 ② 競技スポーツの振興 ③ 学校における体育・スポーツの充実 ④ スポーツ環境の諸整備

(1) 生涯スポーツの振興

生涯スポーツの振興の目標である「市民のスポーツ実施率を上げる」について、意識的に運動している人の割合は、平成25年度末には48.4%で、およそ市民の2人に1人が意識的に運動をしています。

また、スポーツ活動（施設利用機会）の満足度は、平成25年度末には45.6%で、目標値を上回っていますがさらなる施策展開が必要です。

【基本施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
意識的に運動している人の割合 (%)	53.8	38.8	49.3	48.5	48.4	60.0

(資料：大垣市の教育に関する市民アンケート調査)

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
スポーツ活動（施設利用機会）の 満足度の向上 (%)	26.3	30.6	30.8	30.8	45.6	40.0

(資料：大垣市の教育に関する市民アンケート調査)

① 少年期のスポーツ活動の推進

スポーツ少年団の入団率は、平成25年度末には26.0%で、目標値を下回っています。

この背景には、スポーツ少年団以外のスポーツスクールやスポーツクラブ等に所属する子どもが増加していることも要因の一つとして考えられます。

今後、少年期のスポーツ活動の推進については、スポーツ少年団とスポーツ少年団以外

のスポーツスクールやスポーツクラブ等の両面からのアプローチが必要です。

【施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
スポーツ少年団の入団率 (%)	27.0	27.5	27.2	26.0	26.0	30.0

(資料：(公財)大垣市体育連盟)

② コミュニティスポーツの振興

本市と市体育連盟が開催しているスポーツ教室の教室数は、平成25年度末には149教室と増加傾向にあります。

市民からは、新たなスポーツ教室の開設の要望も多く、今後もニーズにあった教室を開設していくことが必要です。

また、だれもが気軽にスポーツに親しめるようヘルシーウォークや軽スポーツ交流会などを継続的に開催していくことも必要です。

【施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
スポーツ教室数 (教室)	135	134	144	150	149	150

(資料：(公財)大垣市体育連盟)

③ 大垣型地域スポーツクラブの育成・支援

本市の地域スポーツクラブには、総合型地域スポーツクラブが3つ、校区の地域スポーツクラブが3つ、合計6つのクラブがあります。

国が推進している総合型地域スポーツクラブについては、「土日楽園Sトピア東クラブ」、「NPO法人FCヴィオーラ」、「NPO法人LEGARE04(レガール・ゼロクワトロ)」の3つのクラブが活動しており、校区においては、「日新」、「青墓」、「安井」の3校区が地域スポーツクラブを設立し、活動しています。

また、市体育連盟に加盟している各競技団体において、約500のスポーツクラブが活動しています。

本市では、平成14年度から校区において、総合型地域スポーツクラブの組織化をめざしたモデル事業を推進する中、校区体育振興会が中心となり運営している子ども向けのスポーツ教室の取組みが、今後の本市地域スポーツクラブのあり方に一つの方向を示しています。

今後も、生涯スポーツ社会の実現、地域の活性化を図るため、体育振興会など地域に根づいた既存の組織を生かした、新しいスポーツ経営体づくりが必要です。

【施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
地域スポーツクラブのクラブ数 (団体)	5	6	6	7	6	8

(資料：社会教育スポーツ課)

④ 学校開放事業の推進

本市では、夜間及び休日の学校行事で使用していない時に学校体育施設（体育館、運動場、武道場、卓球場等）を一般開放する学校体育施設開放事業を行っています。

市内高等学校の施設開放の拡充にも努めてきましたが、部活動での使用や定時制等の関係から、一部の市内高等学校において、施設開放に至りませんでした。

しかしながら、学校体育施設を利用する市民が毎年多くいることから、今後は、利用区分の見直しや施設の設備、備品等の充実を図り、利用者の満足度の向上に努めていきます。

【施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
学校体育施設の開放施設数(箇所)	78	78	78	78	78	85

(資料：社会教育スポーツ課)

■用語解説

1 大垣市の教育に関する市民アンケート調査	対象者数：500人 調査対象：市内に在住する満18歳以上の男女 抽出方法：無作為抽出、調査方法：郵送配付・郵送返送による郵送調査 調査期間：対象年度の翌年4月15日～30日 平均回収率：48.0% 平成25年度から「分からない」の選択肢を増やし、全体の母数から「分からない」を差し引き、割合を算出しています。
2 総合型地域スポーツクラブ	平成24年3月に、文部科学省中央教育審議会において策定された「スポーツ基本計画」に掲げられた計画の一つで、誰もが、それぞれの体力や年齢・技術・興味・目的に応じて、スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目的とし、ドイツをはじめとしたヨーロッパ型スポーツクラブをめざして、県の認定を受けて運営しています。
3 体育振興会を中心としたモデル事業（大垣型地域スポーツクラブ）	校区体育振興会の活性化を図り、スポーツクラブの創設など、スポーツ振興を推進するため、2年ごとに校区を指定し、体育振興会が中心となり、スポーツ教室などを開催しています。 平成20年度～21年度は日新校区を指定し、バドミントンを中心とした教室、平成22年度～23年度は、青墓校区でボール遊びを中心とした教室、平成24年度～25年度は、安井校区で軽スポーツを中心とした教室、平成26年度から上石津地区で軽スポーツを中心とした教室を開催しています。

(2) 競技スポーツの振興

競技スポーツの振興の目標である「国体の岐阜県選手団における大垣市関係者の割合を上げる」について、国体の岐阜県選手団における大垣市関係者の割合は、「ぎふ国体・大会」以降、低下しています。

今後、国体・オリンピックに向けた選手強化を継続するとともに、全国・国際大会に出場する選手、チームの増加をめざすなど、市民のスポーツ大会での市内選手の活躍に関する満足度の向上に努めます。

また、スポーツ団体との連携によるジュニア期からの一貫指導による競技力向上は、「ぎふ国体・大会」を目標に岐阜県を中心として取り組まれました。

本市では、企業・団体・行政が一丸となり、「ぎふ国体・大会」の成功に導くことができたことから、その成果の継続が重要な課題になっています。

【基本施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
国体の岐阜県選手団における大垣市関係者の割合 (%)	12.8	11.5	15.1	14.0	10.0	20.0

(資料：社会教育スポーツ課)

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
スポーツ大会での市内選手の活躍 (県・全国・世界)に関する満足度 (%)	21.5	22.4	19.2	16.8	42.9	30.0

(資料：大垣市の教育に関する市民アンケート調査)

① 小・中・高校生までの一貫した指導体制の整備

小・中・高校生の指導者に対する合同指導講習会は、未実施でしたが、それぞれの指導者に対する研修会等は実施されています。

今後は、合同という形態に固執することなく、指導者に対する研修会及び講習会、講演会等の開催を拡充していくことが必要です。

市体育連盟が運営補助事業として推進しているジュニアスポーツクラブ事業は、少年団がない競技種目や存続が危ぶまれている部活動の受け皿となれるよう新たなジュニアスポーツクラブ設立に努めていくことが必要です。

【施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
小・中・高校生の指導者に対する 合同指導講習会の年間実施数(回)	0	0	0	0	0	年2

(資料：社会教育スポーツ課)

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
ジュニアスポーツクラブのクラブ 数(団体)	2	2	2	2	2	3

(資料：(公財)大垣市体育連盟)

② 若手指導者の育成・確保及び資質の向上

スポーツ少年団の公認指導者資格を有する指導者の登録者数は、減少傾向にあります。

しかしながら、毎年市体育連盟において、認定員養成講習会等の実施や資格取得補助等を行い、増員に努めています。

今後、指導者の高齢化による減少が考えられることから、新規の若手指導者の確保・育成が必要です。

また、「ぎふ国体・大会」に出場した選手が継続した選手活動及び引退後も指導者として本市で活動できるよう支援に努めることが必要です。

【施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
スポーツ少年団公認指導者の登録 者数(人)	563	563	533	525	499	800

(資料：(公財)大垣市体育連盟)

(3) 学校における体育・スポーツの充実

学校における体育・スポーツの充実の目標である「児童生徒の体力調査の結果が、全国平均を上回っている種目割合を上げる」について、体力調査結果が全国平均を上回る種目の割合は低下していますが、8種目の合計点をみると全国平均点とほぼ同じであり、中学生においては、全国平均点を上回っています。

今後は、各種目を総合的に強化することで8種目の合計点をさらに向上させるための施策展開が必要です。

【基本施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
体力調査結果が全国平均を上回る 種目の割合 (%)	小学生	小学生	小学生	小学生	小学生	小学生
	20.8	30.2	23.9	12.5	9.4	50.0
	中学生	中学生	中学生	中学生	中学生	中学生
	89.6	89.6	75.0	52.0	52.1	100.0

(資料：社会教育スポーツ課)

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
小・中学生の体力づくり（学校体 育・部活動）に関する満足度 (%)	30.3	34.3	39.0	30.9	49.1	40.0

(資料：大垣市の教育に関する市民アンケート調査)

【体力調査結果の8種目合計点（1種目10点 計80満点）】

区分		H21	H22	H23	H24	H25
小学生	大垣市	55.12点	53.96点	震災のた め調査な し	54.27点	54.22点
	全国	54.39点	54.63点		54.46点	54.29点
中学生	大垣市	49.41点	48.07点		49.61点	48.21点
	全国	44.65点	44.93点		46.02点	45.10点

(資料：社会教育スポーツ課)

① 学校体育の充実

学校における独自の体力向上に関わる取組みは、マラソンや縄跳び、一輪車など市内全小中学校で実施しています。

この取組みを継続するとともに、今後は、スポーツをすることが好きな児童生徒を育てるために体育授業の充実を図ることが必要です。

【施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
学校における独自の体力向上に関 わる取組みを行っている学校数 (校)	24	24	31	26	32	32

(資料：社会教育スポーツ課)

② 運動部活動の活性化

運動部活動の活性化について、部活動派遣指導者は増員傾向にあり、充実した指導が行われています。

今後も、地域の優秀な指導者が地元の学校で運動部活動を指導できるよう支援するとともに、地域スポーツクラブとの連携を図っていくことが必要です。

【施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
部活動派遣指導者数(人)	75	76	75	76	87	100

(資料：学校教育課)

③ 指導者の資質向上

「(2) 競技スポーツの振興、① 小・中・高校生までの一貫した指導体制の整備」と同じ

【施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
小・中・高校生の指導者に対する 合同指導講習会の年間実施数(回)	0	0	0	0	0	年2

(資料：社会教育スポーツ課)

■用語解説

1 8種目	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ(小学生)、ハンドボール投げ(中学生)
-------	---

(4) スポーツ環境の諸整備

スポーツ環境の諸整備の目標である「体育施設の利用者数を増加する」について、本市体育施設は、平成24年の「ぎふ国体・大会」開催に向けて、会場となる施設の大規模改修を行い、平成25年度から26年度には、北公園陸上競技場の全面改修を行いました。

【基本施策の目標指標】

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
体育施設の利用者数 (学校体育施設開放 も含む)(人)	1,370,000	1,432,954	1,464,507	1,448,542	1,434,971	1,450,000

(資料：社会教育スポーツ課)

区分	基準値 (H21)	H22	H23	H24	H25	目標値 (H26)
体育施設の利用(設備・環境)の 満足度(%)	31.5	33.5	35.0	30.4	45.4	40.0

(資料：大垣市の教育に関する市民アンケート調査)

① スポーツ施設の整備・充実

平成24年に開催した「ぎふ国体・大会」のため、会場となる施設の大規模改修を行いました。

今後は、老朽化した施設及び競技備品が多いため、計画的な施設整備や競技備品の充実に努める必要があります。

② スポーツ関係団体の充実

スポーツ関係団体の充実を図るため、スポーツ推進委員協議会において、新たな事業を展開するとともに、各種スポーツ団体との連携のもと事業の実施に努めました。

また、岐阜経済大学において、県のトップアスリート拠点クラブに位置づけられている「岐阜経済大学アスリート育成クラブ」が設立され、スポーツ競技の選手発掘・育成をめざすとともに、指導者の技能の向上を図っています。

今後は、スポーツ関係団体の活動の充実やスポーツ関係団体間の連携を強化し、本市のスポーツの推進を図ることが必要です。

③ スポーツイベントの開催

市体育連盟や各種団体と連携し、多くのスポーツイベントを開催してきました。

今後も、市民が主体的にスポーツ活動を行うことができるよう積極的なスポーツイベントの開催に努める必要があります。

④ 情報提供の促進

インターネット等を利用したスポーツに関する情報提供に努めるとともに、スポーツイベント等の開催の際には、ポスターやチラシの部数を増刷することなどより、多くの方に告知できるよう努めました。

また、市体育連盟との連携のもと、スポーツに関する相談や問い合わせに対応できる体制を整えました。

3 第2次計画の策定に向けて

第1次計画の実施状況及び評価を踏まえて、次のことを重点とし、本計画を策定します。

(1) 生涯スポーツの推進

- ① 少年期のスポーツ活動の推進については、スポーツ少年団の入団率を向上させるため、指導者研修会や保護者に対するスポーツ少年団活動の理解と啓発に努めます。

また、スポーツ少年団やスポーツスクール等に未加入の子どもが、スポーツを行う場として活用できるよう地域スポーツクラブ活動の理解と啓発に努めます。

- ② コミュニティスポーツの推進については、地域においてヘルシーウォークや軽スポーツの交流会を開催するとともに、市民総合体育大会、市民スポーツ・レクリエーション祭の充実に努めます。

また、ニーズにあった各種スポーツ教室の拡充を図るとともに、高齢者・障がい者のスポーツ活動に対する支援に努めます。

- ③ 地域スポーツクラブの育成・支援については、体育振興会の活動の現状を把握するとともに、活性化を図り、体育振興会を中心とした「大垣型地域スポーツクラブ」の拡充に努めます。

- ④ 学校体育施設開放事業の推進については、より多くの市民が学校体育施設を利用できるよう利用区分の見直しや施設の設備、備品等の充実に努め、利用者の満足度の向上に努めます。

(2) 競技スポーツの推進

- ① 小・中・高校生までの一貫した指導体制の整備については、選手の育成・強化を図るため、競技団体への強化支援や指導者に対する研修会や講習会、講演会等を開催します。

また、少年団がない競技種目や存続が危ぶまれている部活動の受け皿となれるよう新たなジュニアスポーツクラブの設立に努めます。

- ② 若手指導者の育成・確保及び資質の向上については、指導者の高齢化による減少に対処するため、新規の若手指導者の育成・確保に努めます。

また、「ぎふ国体・大会」に出場した選手が継続した選手活動及び引退後も指導者として本市で活動できるよう支援に努めます。

(3) 学校における体育・スポーツの充実

- ① 学校体育の充実については、各学校において、児童生徒の発達段階に応じた体力の向上プランを作成するなど、学校の特色を生かした独自の取組みを推進します。
また、学校体育指導者の研修会の開催や指導資料などの情報を提供するとともに、体育の授業の充実を図り、スポーツをすることが好きな児童生徒の増加に努めます。
- ② 運動部活動の活性化については、部活動派遣指導者の増員を図るとともに、地域スポーツクラブとの連携を促進します。
- ③ 指導者の資質向上については、競技スポーツの推進と同様に指導者に対する研修会や講習会、講演会等を開催するとともに、地域に埋もれた指導者の発掘やボランティア・高校生・大学生の活用を推進することにより、顧問教員の指導者不足に対応します。

(4) スポーツ環境の諸整備

- ① 体育施設の整備・充実については、老朽化が著しい体育施設の計画的な施設整備に努めるとともに、学校体育施設の施設整備や競技備品の充実を図ります。
- ② スポーツ関係団体の充実については、スポーツ関係団体の組織の充実や連携を強化します。
- ③ スポーツイベントの開催については、今後も市体育連盟や各種団体と連携して積極的に本市独自のスポーツイベントを開催します。
また、フレンドリーシティである韓国の昌原（チャンウォン）市やドイツのシュツットガルト市との交流を充実します。
- ④ スポーツに関わるボランティア活動の推進については、各種スポーツイベントや地域スポーツクラブ等の運営において、市民のボランティア活動に対する意識の啓発を図り、スポーツに携わる機会を設けることにより、スポーツに関心を持てるようにします。

第3章 基本方針

1 基本理念

私たちは、スポーツを行うことにより、本来人がもつ身体活動欲求を満たすとともに、爽快感や達成感、仲間との共同による連帯感などの精神的充足感を味わうことができます。

また、スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や青少年にとって、心身の健全な発育・発達に資するなど人間形成に大きな影響を与えるものです。

このことから、私たちが生涯にわたってスポーツに親しむことは、現代社会において重要な役割をもつものです。

本市では、市体育連盟が中心となってスポーツを推進し、組織的にスポーツ活動を行っており、県内で最も盛んな地域の一つです。

その活動を今以上に活発にし、市民のスポーツ実施率の向上を図るため、市民が「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」、「いつまでも」スポーツに親しむことのできる、生涯スポーツ社会の実現に向けて、『スポーツの都市“OGAKI”づくり』を基本理念とします。

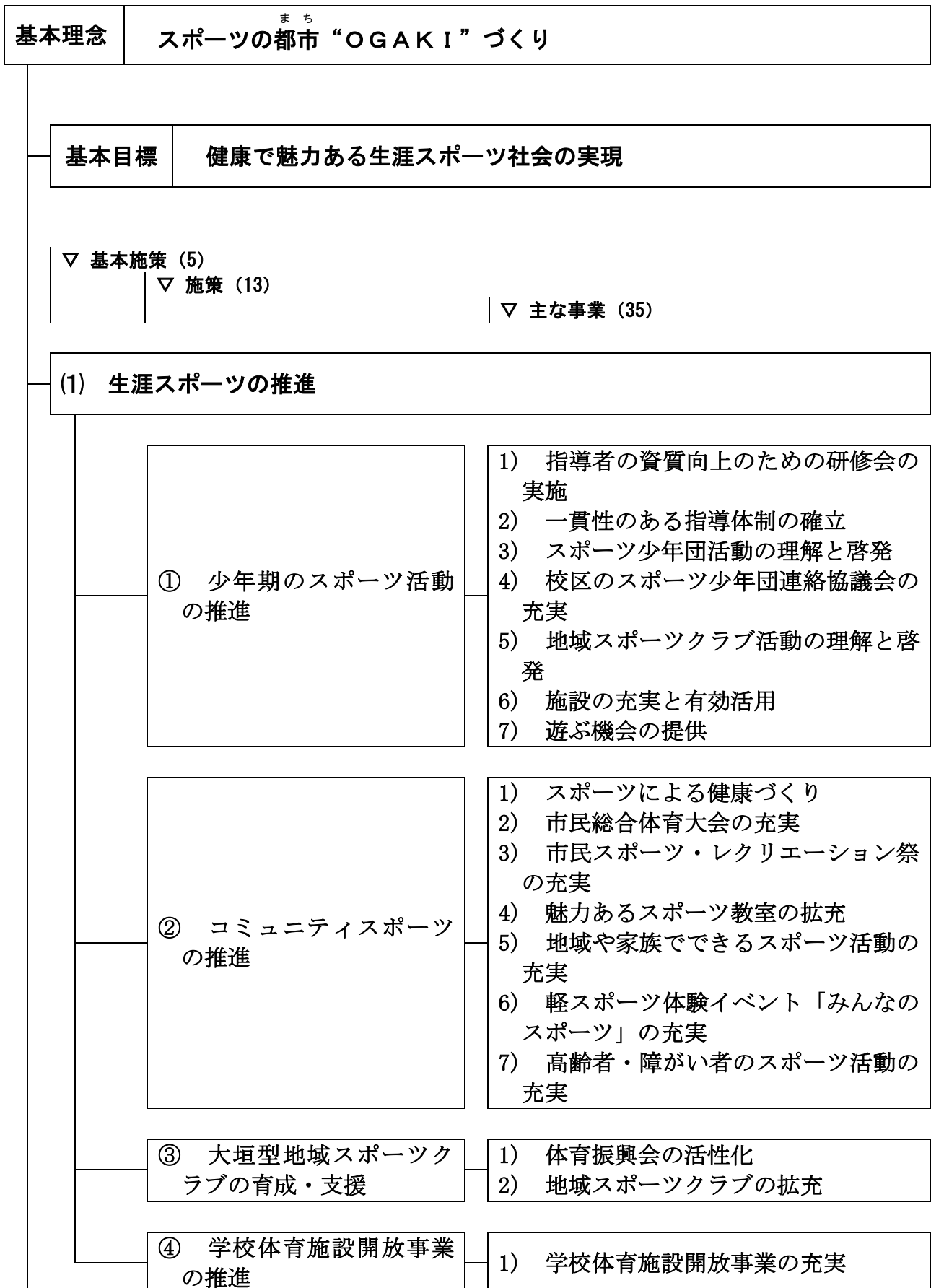
2 基本目標

基本理念の具現化を図るため、「健康で魅力ある生涯スポーツ社会の実現」を基本目標として推進します。

3 基本施策

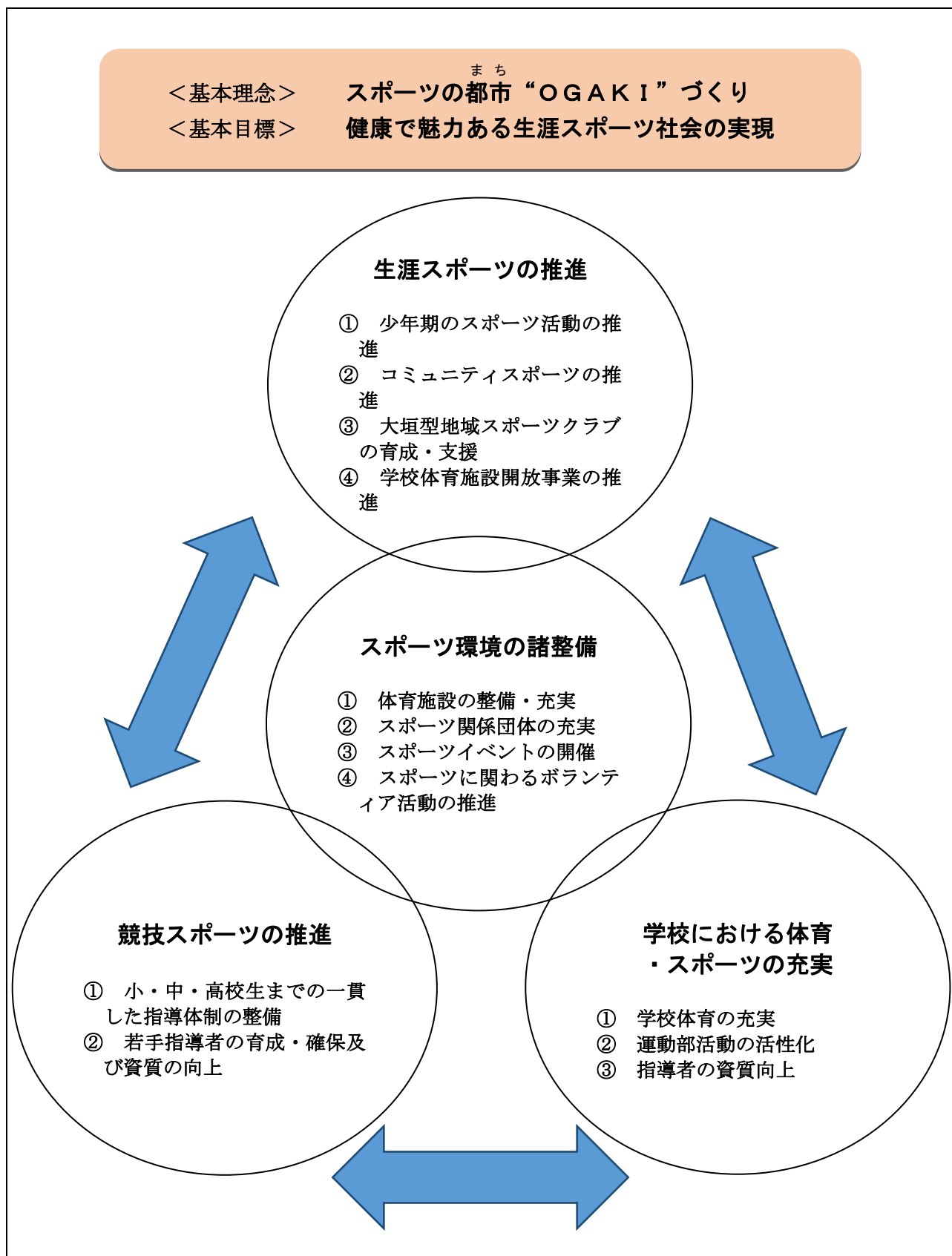
スポーツ推進の観点から相互に密接な関係にある「生涯スポーツの推進」、「競技スポーツの推進」、「学校における体育・スポーツの充実」と、これら3つの分野を具現化するための「スポーツ環境の諸整備」とあわせ、4つの分野で展開します。

4 施策体系図

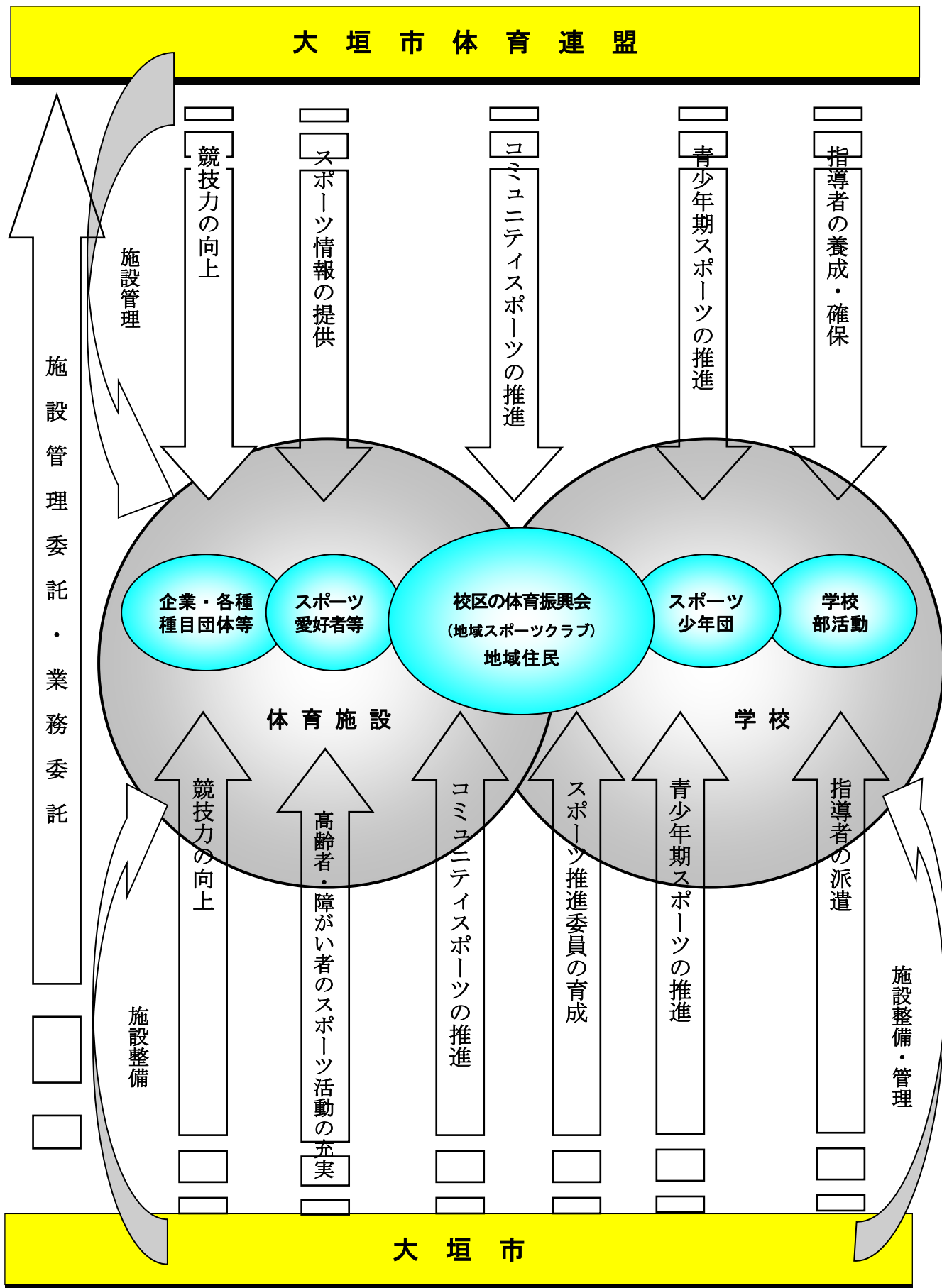




5 基本施策の関連図



〔健康で魅力ある生涯スポーツ社会の実現をめざす体系図〕



第4章 基本施策

1 生涯スポーツの推進

基本施策の目標	市民のスポーツ実施率の向上
---------	---------------

一人ひとりのライフスタイルや年齢、体力、技能、目的等に応じて、生涯にわたり継続して、だれもが身近でスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現をめざします。

(1) 少年期のスポーツ活動の推進

少年期、特に心身の発育発達が大きい小中学生に焦点をあて、様々なスポーツを体験することで、スポーツが好きな児童生徒を育成します。

また、スポーツ少年団への入団促進を図るとともに、スポーツ少年団以外のスポーツスクールやスポーツクラブ等に所属し、スポーツを行う児童生徒も含めた小中学生スポーツ活動実施率の向上をめざします。

① 指導者の資質向上のための研修会の実施

指導者研修会を実施し、子どもの発達段階に応じた技術指導ができる人材を育成するとともに、単位団での適正な活動や子どもへのカウンセリングができるなど、指導者としての資質向上を図ります。

② 一貫性のある指導体制の確立

少年団と中学校部活動の指導プログラムを一貫性のあるものにするため、少年団と部活動指導者の連携を図ります。

③ スポーツ少年団活動の理解と啓発

学校長をはじめ教員に対してスポーツ少年団活動の正しい理解を図り、保護者にその意義を説明するとともに、子どもに接する保護者の心構えについて啓発を図ります。

④ 校区のスポーツ少年団連絡協議会の充実

保護者や指導者、地域の有識者を構成員とし、少年団活動の理念のもと、活動の充実を図ります。

⑤ 地域スポーツクラブ活動の理解と啓発

スポーツ少年団やスポーツスクール等に未加入の子どもが、スポーツを行う場として活用できるよう、地域住民に対して、地域スポーツクラブの活動目的の理解や運営に関する意識の啓発を図ります。

⑥ 施設の充実と有効活用

より多くのスポーツ少年団や地域スポーツクラブが身近な場所で活動できるよう、小中学校の体育施設の充実を図るとともに、積極的な施設の活用を推進します。

⑦ 遊ぶ機会の提供

幼児を含めた子どもを対象とした身体を動かす遊びの場として、キッズスポーツ教室を開催するとともに、「幼児期のボール遊び」（大垣市幼児期運動指針）を活用し、スポーツが好きな子どもを育成します。

(2) コミュニティスポーツの推進

地域の活性化や連帯感を向上させるため、健康づくりのための運動（スポーツ）や軽スポーツなどを通じたコミュニティスポーツ活動の充実を図ります。

① スポーツによる健康づくり

ヘルシーウォークを各校区で開催し、ブロックごとに年1回から2回大会を開催します。

大会の開催にあたっては、関係しているスポーツ推進委員と自治会、体育振興会が連携を図り、軽スポーツの体験や交流会など多彩なプログラムによる運営を行います。

② 市民総合体育大会の充実

大会の充実に向けて、校区対抗競技の得点方法や実施種目など、校区対抗競技のあり方を検討することにより、各校区からの参加者増加につなげるとともに、地域の活性化や連帯感の向上を図ります。

また、体育振興会や各競技団体等の協力を得ることにより、円滑な運営を行います。

③ 市民スポーツ・レクリエーション祭の充実

より多くの市民の参加を促すため、関係団体等の協力を促進し、広く市民へ普及・啓発を行います。

また、複数会場における開催や市民が気軽にスポーツに親しむことができる魅力ある大会内容を検討し、スポーツ人口の増加を図ります。

④ 魅力あるスポーツ教室の拡充

市体育連盟が実施する教室を中心に、ニーズにあった各種スポーツ教室を拡充し、「きっかけづくり」、「グループづくり」ができるようにします。

⑤ 地域や家族でできるスポーツ活動の充実

体育振興会等が主催する地域の大会に、家族や親子で参加できる多様な運動（スポーツ）を取り入れて実施します。

また、スポーツ推進委員等が中心となり、軽スポーツ大会などを企画し、参加者とともに運営できる体制の構築を図ります。

⑥ 軽スポーツ体験イベント「みんなのスポーツ」の充実

スポーツを行うきっかけづくりとして、スポーツ推進委員が主催する「みんなのスポーツ」を充実させるため、体験種目や開催回数等を拡充します。

また、「みんなのスポーツ」の実績を踏まえて軽スポーツ大会の開催を検討します。

⑦ 高齢者・障がい者のスポーツ活動の充実

高齢者・障がい者のスポーツ活動を支援するとともに、市体育連盟と連携して、スポーツに関する情報の提供に努め、スポーツ活動の充実を図ります。

(3) 大垣型地域スポーツクラブの育成・支援

既存の組織等を生かして、本市にあった地域スポーツクラブとするため、地域スポーツクラブの理念や必要性を今後も広く周知するとともに、平成20年から実施している体育振興会を中心としたモデル事業の実績等を踏まえて、大垣型地域スポーツクラブの確立をめざします。

① 体育振興会の活性化

これまでに大垣型地域スポーツクラブとして活動を実施している校区の体育振興会が抱える課題等を解決するため、市体育連盟の協力のもと、意見交流会や講演会等の実施を通して、組織の改善・充実を図るとともに、地域の活性化及び連帯感の向上にもつながる自発的・自主的な団体をめざします。

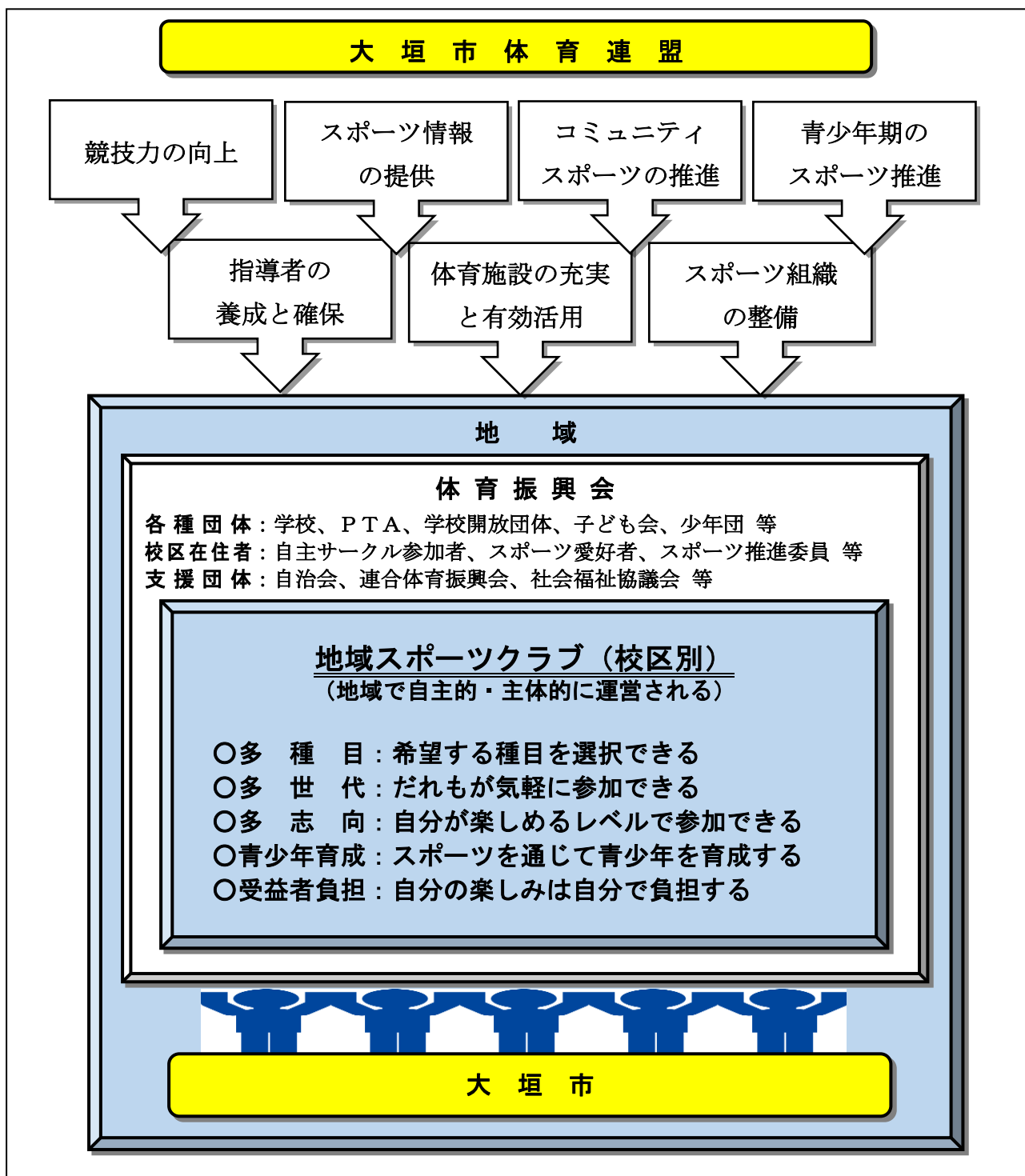
体育振興会の活動目的は、スポーツを通して地域住民の健康の保持増進に資するとともに、青少年の健全育成も担うものです。

② 地域スポーツクラブの拡充

地域の活性化及び連帯感の向上、子どものスポーツを行うきっかけづくりなどを目的に、

2年ごとに校区を指定してきた地域スポーツクラブ推進事業について、今後、全校区を指定し、モデル事業の成果と課題を踏まえて「大垣型地域スポーツクラブ」の拡充を図ります。

【大垣型地域スポーツクラブのイメージ図】



(4) 学校体育施設開放事業の推進

市民の身近なスポーツ活動の場を拡大するため、地域に開かれたスポーツ施設として、学校体育施設開放事業を推進します。

① 学校体育施設開放事業の充実

市内の小中学校及び高等学校の体育館や運動場、武道場、卓球場等を地域に開放し、施設の整備、競技備品等の充実を図ります。

■用語解説	
1 幼児期のボール遊び（大垣市幼児期運動指針）	幼児期の運動経験をボール遊びを通して行うことで、パス交換でのコミュニケーション能力の醸成、努力や挑戦を通じての自分磨き、小学校体育への円滑な導入のためのボールスキルと身体コーディネーションスキルの獲得と向上等を狙いとしています。

2 競技スポーツの推進

基本施策の目標	全国・国際大会等に出場する選手数の増加
----------------	---------------------

市体育連盟や競技団体等と連携して、中長期にわたる強化計画により、国民体育大会や全国・国際大会等で好成績を収める選手の育成及び指導者の養成を図ります。

(1) 小・中・高校生までの一貫した指導体制の整備

全国・国際大会で活躍できる選手を育成するためには、各競技団体やクラブ、部活動の指導者が一貫した指導ができるよう研修会や講習会、講演会等を開催し、共通理解を図っていく必要があります。

また、少年期における指導者の交代や部活動における指導者不足に対応するため、地域や競技団体を中心とするクラブの設立を推進することで、一貫した指導体制の整備を図り、競技力の向上をめざします。

① 選手の育成・強化

各競技団体が自主的・計画的に強化策を展開し、本市が市体育連盟と連携・協力して、競技団体の活動を支援します。

また、岐阜経済大学アスリート育成クラブとの連携により、全国・国際大会で活躍できる選手の発掘・育成をはかるとともに、特定の学校部活動を強化指定し、東海・全国で優秀な成績を収められるよう強豪チーム・選手との交流や対戦することにより、競技力の向上をめざします。

さらに、本市独自の指導者研修会や優秀な指導者による講演会等を開催することにより、指導方法の向上を図ります。

② 育成組織の確立

市体育連盟では、青少年期における一貫した指導体制を強化するため、水球及びフェンシングのジュニアスポーツクラブの活動を支援しています。

今後は、さらなる組織強化と会員増加を図るよう促すとともに、その他の競技についても加盟競技団体に対して、ジュニアスポーツクラブの設立を働きかけます。

また、競技力向上の推進を図るため、県や県体育協会、市体育連盟、学校、地域クラブ、企業等と密接に連携を図るとともに、「支える（育てる）」ための新たな育成組織を検討します。

(2) 若手指導者の育成・確保及び資質の向上

優秀な選手やチームを育てるためには、十分な指導力を備えた指導者を養成することが必要です。

これまで、昭和40年に開催された「岐阜国体」において活躍した選手が、指導者として中心的な役割を担ってきましたが、後継者の育成が急務です。

① 若手指導者の育成・確保

日本体育協会公認指導者資格及びスポーツ少年団認定育成員資格等の取得推進を図るため、市体育連盟と連携し、競技団体への斡旋やPRを進めます。

また、県や県体育協会等と連携し、各種講習会の誘致や指導者の参画を促進します。

平成24年に開催された「ぎふ国体・大会」に出場した地元選手を中心に、継続した選手活動の支援を行うとともに、引退後も指導者として、本市において活動できるよう企業等に協力を求めます。

3 学校における体育・スポーツの充実

基本施策の目標	児童生徒の体力調査結果の8種目合計点の向上
---------	-----------------------

小中学校において、教育活動全体を通して計画的に健康な身体や体力づくりに取り組むことにより、各学校で行う体力調査結果の8種目合計点を向上させることをめざします。

(1) 学校体育の充実

児童生徒が発達段階に応じて運動する楽しさや喜びを感じ、スポーツに親しむことができるよう学校体育の充実を図ります。

① 学校教育活動全体を通じた指導の充実

特別活動や総合的な学習の時間、運動部活動など学校教育活動全体を通して、豊かなスポーツライフの基礎を作るとともに、体力の向上プランを作成するなど、各学校において児童生徒の発達段階に応じた独自の取組みを推進します。

また、学校の特色を生かした体育的行事の開催をはじめ、始業前や休み時間・業間の運動、自然体験活動などの取組みを推進するとともに、全児童生徒を対象に体力テストを実施し、その結果を活用した体力向上の取組みを推進します。

さらに、体力向上モデル校を指定し、体力向上等を図るための研究と実践を推進します。

② 体育の授業の充実

学習指導要領のもと学校体育の充実を図るとともに、学校体育指導者の研修会の開催や指導資料などの情報提供、大学などとの連携を進めて、体育の授業の充実を図ることにより、スポーツをすることが好きな児童生徒の増加に努めます。

また、活力ある生活の支えに必要な体力を高めるとともに、自己の能力に応じた運動技能を身につけるための運動方法や態度の育成及び克己心を養う指導を推進します。

さらに、発達段階や時と場所、目的に応じた適切な集団行動ができるよう指導の徹底を図ります。

(2) 運動部活動の活性化

運動部活動は、学校の管理のもと生徒の自発性・自主性を生かして計画的に実施される教育活動です。

この活動を通して、生徒の運動技能を高めるとともに、健康の保持増進の実践力と体力の向上を図り、生涯にわたりスポーツに親しむ能力を育成します。

また、部員同士が互いに協力しあい、友情を深めるなど、望ましい人間関係を育てることにより「生きる力」を身につけます。

① 運動部活動運営の改善

運動部活動の部員減少に伴う休部や廃部に関する対策として、複数校合同運動部活動を必要に応じて導入します。

また、運動種目別に今後の運営についての方向性を検討します。

② 地域と連携した運動部活動の充実

地域の優秀な指導者が地元の学校で運動部活動を指導できるよう、部活動派遣指導者事業の一層の充実を図ります。

また、岐阜経済大学の教職課程を修学した学生等が学校の運動部活動を指導するなど、連携を強化します。

③ 運動部活動と地域スポーツクラブとの連携

運動部活動と地域スポーツクラブが、指導者や施設を相互に活用し、双方同時に所属できる体制を構築するなど、連携を図ります。

運動部活動などに参加していない子どもたちが、少しでもスポーツに親しみ、目的をもって気軽に運動できるよう、地域スポーツクラブへの参加を促進します。

(3) 指導者の資質向上

学校における体育・スポーツを充実させるため、教職員をはじめ、地域の専門的な知識・技能を身につけている指導者の確保に努めるとともに、人間形成などの指導もできる指導者を育成します。

① 指導者の養成・確保

体育・スポーツに関する研修会等を開催し、教職員や外部指導者の資質の向上に努めるとともに、地域に埋もれた指導者の発掘やボランティア・高校生・大学生の活用を推進することにより、顧問教員の指導力不足に対応します。

また、小・中・高等学校の連携を図ることにより、指導者の資質向上に努めます。

■用語解説

1 体力の向上プラン	各学校において、体力調査結果の分析・考察を行い、児童生徒の体力向上を目的とした学校独自の取組みを組織的・計画的に推進するためのプランです。
------------	---

4 スポーツ環境の諸整備

基本施策の目標	体育施設の利用者数の増加
---------	--------------

本市におけるスポーツ活動の拠点となる体育施設については、今後とも市民が気軽に安全にスポーツを楽しみ、学び、理解する機会を提供するとともに、施設的环境を整備・充実させます。

スポーツ活動をより充実させるためには、行事や大会用の活動プログラムの提供や練習・大会等の会場確保、仲間（会員）を確保するための協会やクラブといった組織が必要となり、それぞれの組織が自主的な運営のもとで充実した活動の展開を促進します。

また、諸外国とのスポーツ交流による競技力の向上や全国レベルの競技大会の開催による競技者の活性化、市民を対象としたスポーツイベントの開催によるスポーツ実施率の向上に努めます。

スポーツには、「する・みる・支える」の3つの要素があり、スポーツに感動、関心を持つことにより、自らもスポーツを実施することにつながることから、市民のスポーツに関わるボランティア活動への参加を促進します。

(1) 体育施設の整備・充実

① 計画的な体育施設の整備

総合体育館をはじめ、体育施設の老朽化が著しいため、市民のニーズや利用状況を踏まえて計画的な施設の整備及び利用の効率化を図るため、体育施設改修計画を作成します。

② 学校体育施設開放の施設整備

地域住民の身近なスポーツ活動の場として活用されている学校体育施設について、施設整備や競技備品の充実を図ります。

(2) スポーツ関係団体の充実

① スポーツ関係団体等との連携と協力

本市におけるスポーツ推進の核となる市体育連盟とは、今後も、さらに連携を図ります。各校区における体育振興会については、地域スポーツクラブの創設を推進し、組織の活性化を図ります。

スポーツ推進委員協議会については、各校区のスポーツ推進委員を通して、体育振興会

の活性化や地域スポーツクラブの創設など、行政と地域住民とのパイプ役としての機能の充実を図ります。

各競技団体については、市体育連盟と連携し、各競技団体の活動が充実・発展するよう促進します。

スポーツ少年団については、単一種目活動以外の活動を取り入れるなど、より子どものニーズにあった活動を促進します。

また、少年団本部を中心に、運営方法・指導方法を見直すとともに、指導者の認定育成員養成講習会等への定期派遣に対する支援体制を確立し、資質の向上を図ります。

小学校体育振興会及び中学校体育連盟については、小学生の段階から「スポーツ好き」の子どもを育て、小・中・高等学校へと継続してスポーツ活動のできる環境の整備を促進します。

また、競技力の向上という観点から全国・国際大会に出場する選手を育成するため、それぞれの学校単位の部活動強化を行うとともに、各種競技団体との密接な連携のもとに組織的・計画的な活動を促進します。

大学や地域、企業などのスポーツクラブについては、自主的な運営のもとで個々の目標やレベルによって様々な活動を展開するとともに、民間のスポーツクラブと連携し、スポーツの推進や地域の活性化を図ります。

また、大学や企業が地域スポーツの拠点として、施設を開放し、指導者を提供するシステムを構築します。

高齢者・障がい者のスポーツクラブについては、スポーツ関係団体と連携し、スポーツに関する情報の提供などを通して、より多くの高齢者・障がい者がスポーツを行いやすい環境の整備を促進します。

(3) スポーツイベントの開催

① スポーツイベントの開催

本市では、市民に「夢」と「感動」を与え、市民がスポーツをするきっかけづくりとなるようなスポーツイベントを数多く開催してきました。

今後も、市民が主体的にスポーツ活動を行うことができるよう、市内の体育施設を有効に活用し、市体育連盟と連携して、本市独自のスポーツイベントを積極的に開催します。

② 諸外国とのスポーツ交流

本市では、フレンドリーシティである韓国の昌原（チャンウォン）市とのスポーツ交流を行っています。

また、同じくフレンドリーシティであるドイツのシュツットガルト市との青少年・指導

者受入れ・派遣事業を市体育連盟と連携して実施しています。

今後も、こうした交流の機会を設けるとともに、派遣に際しては、事業の有効性・妥当性等を十分に検討し、推進します。

③ 各種競技団体等による競技大会の開催

本市では、各種団体や競技協会が、その競技力向上をめざすとともに、市民へのスポーツの誘発や普及、振興を図るため、主体となって活動し、市内体育施設を有効に活用しています。

本市は、各競技種目全体の底上げとさらなる発展のため、市体育連盟と連携して、支援していきます。

【主なスポーツイベントの開催実績】

① スポーツイベントの開催	市民総合体育大会
	市民スポーツ・レクリエーション祭
	岐阜県民スポーツ大会
	軽スポーツ体験イベント『みんなのスポーツ』
② 諸外国とのスポーツ交流	韓国青少年スポーツ相互交流事業
	青少年・指導者ドイツ受け入れ・派遣事業
③ 各種競技団体等による競技大会の開催	全国高校サッカー選抜大垣大会
	J2リーグ（FC岐阜戦）
	日本女子ソフトボール2部リーグ（大垣ミナモSC戦ほか）
	大垣国際女子ソフトボール大会（OGAKI CUP）
	田口福寿杯中日西濃駅伝大会
	城下町おおがき新春マラソン大会
	ほか各種競技協会主管の大会等

(4) スポーツに関わるボランティア活動の推進

① 市民のボランティア活動意識の啓発

各種スポーツイベントや地域スポーツクラブ等の運営において、市民のボランティア活動に対する意識の啓発を図るとともに、スポーツに携わる機会を設けることなどにより、スポーツに関心を持てるよう促進します。

5 アクションプラン

【施策ごとの内訳】

基本施策	施策	主要事業	アクションプラン			
			総数	(新規)	(拡充)	(継続)
(1) 生涯スポーツの推進	4	17	24	(6)	(11)	(7)
(2) 競技スポーツの推進	2	3	9	(1)	(7)	(1)
(3) 学校における体育・スポーツの充実	3	6	17	(3)	(8)	(6)
(4) スポーツ環境の諸整備	4	7	19	(7)	(7)	(5)
計	13	33	69	(17)	(33)	(19)

【施策ごとのアクションプラン】

基本施策	施策	主要事業	アクションプラン	事業区分	主管等
(1) 生涯スポーツの推進	① 少年期のスポーツ活動の推進	1) 指導者の資質向上のための研修会の実施	1 指導者研修会の開催	継続	体連
		2) 一貫性のある指導体制の確立	2 少年団と部活動指導者の連携強化	拡充	市・体連
		3) スポーツ少年団活動の理解と啓発	3 スポーツ少年団活動に対する保護者への啓発活動	継続	市・体連
		4) 校区のスポーツ少年団連絡協議会の充実	4 校区のスポーツ少年団連絡協議会の協議機能の活性化	拡充	市・体連
		5) 地域スポーツクラブ活動の理解と啓発	5 地域スポーツクラブ活動に対する地域住民への啓発活動	新規	市
		6) 施設の充実と有効活用	6 小中学校体育施設の活用の推進	継続	市
		7) 遊ぶ機会の提供	7 乳幼児を含む子どもを対象にしたキッズスポーツ教室の開催	拡充	市・体連

基本 施策	施策	主要事業	アクションプラン	事業 区分	主管 等	
② コミュニティスポーツの推進		1) スポーツによる健康づくり	8 ヘルシーウォークの開催	拡充	市・体連	
			9 健康づくりのための軽スポーツの体験会や交流会の開催	拡充	市・体連	
		2) 市民総合体育大会の充実	10 市民総合体育大会実施種目の充実	拡充	市・体連	
		3) 市民スポーツ・レクリエーション祭の充実	11 市民スポーツ・レクリエーション祭のPR活動の強化	拡充	市・体連	
			12 市民スポーツ・レクリエーション祭の複数会場実施の検討	新規	市・体連	
		4) 魅力あるスポーツ教室の拡充	13 ニーズにあったスポーツ教室の開催	拡充	体連	
		5) 地域や家族でできるスポーツ活動の充実	14 家族や親子で参加できる多様な大会の実施	継続	市・体連	
			15 スポーツ推進委員などが中心となったスポーツ大会の運営体制づくりの検討	継続	市	
		6) 軽スポーツ体験イベント「みんなのスポーツ」の充実	16 「みんなのスポーツ」の体験種目、開催回数等の拡充	新規	市	
			17 「みんなのスポーツ」の実績を踏まえた軽スポーツ大会開催の検討	新規	市	
		7) 高齢者・障がい者のスポーツ活動の充実	18 高齢者・障がい者のスポーツ活動に対する支援	新規	市・体連	
		③ 大垣型地域スポーツクラブの育成・支援	1) 体育振興会の活性化	19 体育振興会が抱える課題を解決するための意見交流会、講演会等の開催	新規	市・体連
				20 体育振興会の自発的・自主的な活動の促進	拡充	市・体連
				21 体育振興会中央大会（バレーボール、ソフトボール）の開催	継続	市・体連

基本 施策	施策	主要事業	アクションプラン	事業 区分	主管 等
			22 体育振興会による地域スポーツ教室の開催	拡充	市・ 体連
		2) 地域スポーツクラブの拡充	23 地域スポーツクラブ推進事業の拡大	拡充	市
	④ 学校体育施設開放事業の推進	3) 学校体育施設開放事業の充実	24 学校体育施設開放事業における施設及び備品の整備	継続	市
(2) 競技スポーツの推進	① 小・中・高校生までの一貫した指導体制の整備	1) 選手の育成・強化	25 各競技団体の強化活動支援	拡充	市・ 体連
			26 岐阜経済大学アスリート育成クラブとの連携	新規	市・ 体連
			27 学校部活動の強化指定	継続	市
			28 指導者研修会の開催	拡充	市・ 体連
		2) 育成組織の確立	29 ジュニアスポーツクラブの拡充	拡充	市・ 体連
			30 県、市体育連盟、学校、地域クラブ、企業等と連携した育成組織の検討	拡充	市・ 体連
	② 若手指導者の育成・確保及び資質の向上	1) 若手指導者の育成・確保	31 日本体育協会公認指導者資格等の取得を推進するPR活動の強化	拡充	市・ 体連
			32 県等と連携した各種指導者講習会の開催	拡充	市・ 体連
			33 ぎふ国体・大会出場の地元選手の指導活動等への支援	拡充	市・ 体連

基本 施策	施策	主要事業	アクションプラン	事業 区分	主管 等
(3) 学校における体育・スポーツの充実	① 学校体育の充実	1) 学校教育活動全体を通じた指導の充実	34 学校における体力の向上プランの作成	新規	市
			35 学校の特色を生かした体育的行事の開催	拡充	市
			36 全児童生徒を対象にした体力テストの実施	継続	市
			37 体力向上モデル校の指定	新規	市
		2) 体育の授業の充実	38 学校体育指導者の研修会の開催	継続	市
			39 指導資料など情報提供の充実	継続	市
			40 大学などとの連携の推進	拡充	市
			41 発達段階に応じた指導の実施	継続	市
	② 運動部活動の活性化	1) 運動部活動運営の改善	42 複数校合同運動部活動の活用	継続	市
			43 運動部活動運営の方向性の検討	新規	市
		2) 地域と連携した運動部活動の充実	44 部活動派遣指導者事業の充実	拡充	市
			3) 運動部活動と地域スポーツクラブとの連携	45 運動部活動と地域スポーツクラブの指導者、施設の相互活用	拡充
		46 運動部活動に参加していない子どもに対する地域スポーツクラブへの参加促進		拡充	市
		③ 指導者の資質向上	1) 指導者の養成・確保	47 体育・スポーツに関する研修会の開催	継続
	48 地域指導者の掘り起こし			拡充	市・体連
	49 ボランティア、高校生、大学生の活用促進			拡充	市・体連
50 小・中・高等学校の連携強化	拡充			市・体連	

基本 施策	施策	主要事業	アクションプラン	事業 区分	主管 等
(4) スポ ーツ 環 境 の 諸 整 備	① 体育施 設の整 備・充実	1) 計画的な体育 施設の整備	51 体育施設改修計画の作成	新規	市・ 体連
			52 競技備品の充実	拡充	市・ 体連
		2) 学校体育施設 開放の施設整備	53 学校体育施設の整備	拡充	
			54 学校体育施設の競技備品の充 実	拡充	市
	② スポー ツ関係団 体の充実	1) スポー ツ関係 団体等との連携 と協力	55 市体育連盟等との連携強化	拡充	市
			56 体育振興会、スポーツ推進委 員協議会の連携による地域スポ ーツクラブの創設及び運営の充 実	新規	市・ 体連
			57 子どものニーズにあったスポ ーツ少年団活動の促進	拡充	市・ 体連
			58 小学校体育振興会、中学校体 育連盟と競技団体との連携によ る競技力の向上	拡充	市・ 体連
			59 大学、企業と連携した施設開 放や指導者提供システムの構築	拡充	市・ 体連
			60 高齢者・障がい者団体への情 報提供等による連携強化	新規	市・ 体連
	③ スポー ツイベ ントの開 催	1) スポー ツイベ ントの開 催	61 市民総合体育大会の開催	継続	市・ 体連
			62 市民スポーツ・レクリエーシ ョン祭の開催	継続	市・ 体連
			63 岐阜県民スポーツ大会の開催 協力	継続	市・ 体連
			64 軽スポーツ体験イベント「み んなのスポーツ」の開催	新規	市
			65 本市独自のスポーツイベント の開催の検討	新規	市・ 体連

基本 施策	施策	主要事業	アクションプラン	事業 区分	主管 等
		2) 諸外国とのスポーツ交流	66 韓国青少年スポーツ相互交流事業	継続	市・体連
			67 ドイツ青少年・指導者スポーツ交流事業	継続	市・体連
		3) 各種競技団体等による競技大会の開催	68 各種競技団体等による競技大会の開催に対する支援	新規	市・体連
	④ スポーツに関わるボランティア活動の推進	1) 市民のボランティア活動意識の啓発	69 各種スポーツイベントや地域スポーツクラブ等の運営における市民のボランティア活動に対する意識の啓発活動	新規	市・体連

第5章 計画の推進

1 推進方法

本計画を具体的・総合的に展開するためには、スポーツ関係団体をはじめ、市民の理解と協力のもと推進していくことが必要です。

このため、市体育連盟や体育振興会、スポーツ推進委員協議会、学校、地域等との連携を図り、計画を推進します。

2 推進体制

大垣市スポーツ推進審議会に進捗状況等を報告するとともに、社会教育スポーツ課と関係各課・機関等が連携して、計画を推進します。

3 進行管理

本計画に基づいて推進する基本施策の進行管理を行うにあたり、大垣市教育振興基本方針評価委員会に進捗状況を報告し、評価を受けます。

4 計画の見直し

本計画の進捗状況や本市を取り巻く社会経済情勢、国・県の動向を踏まえ、必要に応じて、計画の見直しを行います。

5 指標と目標

本計画の施策の着実な推進を確認するための指標として、次のように目標を設定します。

〔基本施策の指標と目標〕

基本施策	目標指標名	基準値 (H25年度)	目標値 (H31年度)
(1) 生涯スポーツの推進	意識的に運動（週1回以上） している人の割合（%）	34.2	50.0
	スポーツ活動（施設利用機 会）の満足度（%）	71.4	80.0
(2) 競技スポーツの推進	全国・国際大会等への出場者 数（人、団体）	個人 243 団体 30	個人 270 団体 35
	スポーツ大会での市内選手 の活躍（県・全国・世界）に 関する満足度（%）	37.6	45.0
(3) 学校における体育・スポ ーツの充実	体力調査結果の8種目合計点 （点）（1種目10点、計80満点）	小学 54.22 全国 54.29 中学 48.21 全国 45.10	小学55.00 中学50.00
	小中学生の体力づくり（学校 体育・部活動）に関する満足 度（%）	49.1	55.0
(4) スポーツ環境の諸整備	体育施設の利用者数（学校体 育施設を含む）（人）	1,434,971	1,460,000
	体育施設の利用（設備・環境） の満足度（%）	70.5	80.0
	スポーツに関わるボランテ ィア活動に対する参加意欲 の割合（%）	33.2	35.0

〔施策の指標と目標〕

基本施策	施策	目標指標名	基準値 (H25年度)	目標値 (H31年度)
(1) 生涯スポーツの推進	① 少年期のスポーツ活動の推進	スポーツ少年団の入団率 (%)	26.0	30.0
		小中学生スポーツ活動実施率 (%)	54.9	60.0
	② コミュニティスポーツの推進	スポーツ教室の教室数 (教室)	149	160
	③ 地域スポーツクラブの育成・支援	地域スポーツクラブのクラブ数 (団体)	6	10
	④ 学校体育施設開放事業の推進	学校体育施設の利用 (設備・環境) の満足度 (%)	68.3	75.0
(2) 競技スポーツの推進	① 小・中・高校生までの一貫した指導体制の整備	小・中・高校生の指導者に対する研修会及び講習会、講演会等の年間実施数 (回/年)	1	3
		ジュニアスポーツクラブのクラブ数 (団体)	2	3
	② 若手指導者の育成・確保及び資質の向上	日本体育協会公認指導者資格の新規取得者数 (人/過去5年平均)	50	250
(3) 学校における体育・スポーツの充実	① 学校体育の充実	スポーツをすることが好きな児童生徒の割合 (%)	68.3	75.0
	② 運動部活動の活性化	部活動派遣指導者数 (人)	87	110
	③ 指導者の資質向上	小・中・高校生の指導者に対する研修会及び講習会、講演会等の年間実施数 (回/年)	1	3